



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月5日

上場会社名 株式会社ダイショー 上場取引所 東  
コード番号 2816 URL <https://www.daisho.co.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松本 俊一  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 三浦 和信（TEL）092-611-9340  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第1四半期の業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,553	4.6	7	△68.0	9	△61.3	10	△49.5
2024年3月期第1四半期	5,310	8.3	21	4.4	24	△4.4	21	106.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	1.12	—
2024年3月期第1四半期	2.22	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	17,599	9,454	53.7
2024年3月期	16,393	9,538	58.2

（参考）自己資本 2025年3月期第1四半期 9,454百万円 2024年3月期 9,538百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	9.00	—	9.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,100	3.9	220	△25.3	220	△26.6	140	△30.8	14.50
通期	26,200	3.3	740	△16.9	730	△19.0	460	△23.2	47.66

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	9,868,800株	2024年3月期	9,868,800株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	216,088株	2024年3月期	216,088株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	9,652,712株	2024年3月期1Q	9,652,712株
------------	------------	------------	------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用、所得環境が改善するなか景気は緩やかに回復してきたものの、国際的な原材料価格の上昇や、円安進行は歯止めがかからず、依然として先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、上昇しつづける原材料価格や労働コスト、物流費へ対応するために、多様化する調理スタイルに合わせた製品や高付加価値製品の開発など、利益獲得への動きがより進みました。

このような状況のもと、当社は、2025年3月期までの中期経営計画の最終年度にあたり、次世代を切り開くダイショーらしさを確立し、企業価値の向上をめざして、成長を持続させてまいります。特に今期は、「ビジョンの追求」「ベースアップ実施」「体制変更」「予算達成」の4項目を重点課題とし、当社固有の存在価値を磨き上げ、さらなる飛躍に向かう1年にしてまいります。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群の小売用製品においては、主力製品の「焼肉のたれ」類が順調に売上を伸ばすなか、当社の焼肉のたれのなかでも最も支持を集めている『秘伝 焼肉のたれ』の新シリーズとして従来品の5倍量のにんにくを配合した『秘伝 焼肉のたれ にんにく5倍』や“自宅で外食のような料理を楽しむ”をコンセプトに立ち上げた「本格中華シェフ 安川哲二監修」シリーズ3アイテムなどの新製品が好調に推移しました。業務用製品では、多様なフレーバーで展開しているオイルソース類や惣菜向けのソースなど、精肉向けを中心に売上が増加しました。この結果、売上高は38億18百万円（前年同期比104.7%）となりました。

粉体調味料群においては、小売用製品の『味・塩こしょう』シリーズが堅調に推移しました。業務用製品においては、惣菜向けの製品が好調に推移しました。この結果、売上高は11億23百万円（前年同期比106.7%）となりました。

その他調味料群においては、業務用製品が好調に推移したものの、「スープはるさめ」などの小売用製品の販売環境は厳しく、売上高は6億11百万円（前年同期比99.9%）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は、55億53百万円（前年同期比104.6%）となりました。利益につきましては、営業利益は7百万円（前年同期比32.0%）、経常利益は9百万円（前年同期比38.7%）、四半期純利益は10百万円（前年同期比50.5%）となりました。

### (2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ12億6百万円増加し、175億99百万円となりました。固定資産が総資産の56.7%を占め、流動資産は総資産の43.3%を占めております。資産の変動は、主に「建設仮勘定」が19億46百万円増加し、「現金及び預金」が7億78百万円、「受取手形及び売掛金」が2億63百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前事業年度末に比べ12億89百万円増加し、81億45百万円となりました。流動負債が負債合計の80.4%を占め、固定負債は負債合計の19.6%を占めております。負債の変動は、主に「短期借入金」が20億円増加し、「未払法人税等」が2億47百万円、「賞与引当金」が2億20百万円、「長期未払金」が2億8百万円それぞれ減少したことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ83百万円減少し、94億54百万円となりました。純資産の変動は、主に剰余金の配当86百万円の支出と四半期純利益10百万円の計上により「利益剰余金」が76百万円減少したことによるものです。自己資本比率は53.7%となり、前事業年度末に比べ4.5ポイント下降しました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

「2024年3月期 決算短信」（2024年5月13日に公表）において発表いたしました通期の業績予想からの変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰り延べる方法を採用しております。

#### ②税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## 3. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,526	1,748
受取手形及び売掛金	3,970	3,707
商品及び製品	1,233	1,601
原材料	462	449
その他	91	125
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	8,277	7,626
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,317	2,288
土地	2,801	2,801
リース資産(純額)	693	660
建設仮勘定	22	1,968
その他(純額)	930	915
有形固定資産合計	6,765	8,635
無形固定資産	53	45
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,299	1,295
貸倒引当金	△2	△3
投資その他の資産合計	1,296	1,291
固定資産合計	8,115	9,972
資産合計	16,393	17,599

(単位：百万円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,235	2,226
短期借入金	—	2,000
未払金	1,481	1,530
未払法人税等	277	30
賞与引当金	461	241
その他	553	517
流動負債合計	5,008	6,546
固定負債		
退職給付引当金	548	548
長期未払金	703	495
その他	595	555
固定負債合計	1,846	1,599
負債合計	6,855	8,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	8,304	8,228
自己株式	△114	△114
株主資本合計	9,440	9,364
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	97	89
評価・換算差額等合計	97	89
純資産合計	9,538	9,454
負債純資産合計	16,393	17,599

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,310	5,553
売上原価	3,285	3,468
売上総利益	2,024	2,085
販売費及び一般管理費	2,002	2,078
営業利益	21	7
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	1	1
不動産賃貸料	1	1
その他	3	3
営業外収益合計	6	6
営業外費用		
支払利息	4	4
その他	0	—
営業外費用合計	4	4
経常利益	24	9
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純利益	24	9
法人税、住民税及び事業税	2	△1
法人税等合計	2	△1
四半期純利益	21	10



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

当社は、食品事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	170百万円	166百万円